

佳作

埼玉のじいじばあばと夏休み

沖縄県カトリック学園海星小学校三年 桃原 用成

ぼくは、夏休みが始まってすぐに埼玉のじいじとばあばの家に一人で泊まりに行きました。二十三日間の旅でした。

今年は埼玉で、何をするのかとわくわくしながら飛行機に乗りました。

ぼくがこの旅で一番多くした事は、プールです。何のために行ったかというと、石垣島にもどってから、ジュニアトライアスロンの大会があるので、できるだけ速く泳ぎたかったからじいじにたのんで連れて行ってもらいました。

プールで一番うれしかったことは、クロールで二十五メートルを三十五秒で泳げたことです。ぼくは、最初の練習では、四十秒以上かかっていたので、こんなに速く泳げるようになってとってもうれしかったです。

プールの先生をしてくれたのはじいじです。じいじは昔、トライアスロンの大会にも出ていたほどスポーツは何でも上手です。

僕が二年生の時までは、泊まりに行くのが優しかった。じいじが今年はとっても怖くてイカリヤ長介みたいでした。ぼくは、怖くていやだなと思ったこともあったけど、僕が三年生になったからと、トライアスロンでがんばってゴールすることを忘れないでくれているからだと思えたので、僕も、じいじにこたえられるようにがんばろうと思いました。

プールでは息つぎの仕方や、手のかき方を教えてくれました。ビート板を足にはさんで、泳ぐ練習もしました。

そしてプールだけではなく、僕の苦手なバイクの練習もいっしょにやってくれました。がんばったごほうびには、僕が行きたかったデイズニールンドと日光東照宮と秩父の和同開珎発祥の地にじいじとばあばが連れていってくれました。

ぼくは、昨年とっても苦しかったから今年のトライアスロン大会に出るかまよっていたけど、じいじがいっしょに練習してくれて、ばあばがおうえんしてくれたおかげで、スイムもバイクも速くなったの

で、大会に出ると決めてよかったと思いました。

石垣に帰る時がきて僕は埼玉のじいじばあばともっと遊びたかった気持ちでした。そして飛行機に乗ってとなりの人がいない時に、三つぶぐらいの涙が出てきました。とってもさびしかったです。

行くたびにないてしまうので、来年の春や夏はどうしようかと考えていたのですが、次からは妹の和香もいっしょに行けるようになるので、やっぱり埼玉に行きたいと思いました。とっても楽しかった一人旅でした。

そして石垣にもどり、一週間後にはトライアスロン大会でした。じいじが教えてくれたことを頭と体にたたきこんで本番をむかえました。とっても苦しかったし、つかれたけどがんばって完走することができました。じいじ、ばあば、ありがとう。